



日本の「食と農」 世界展開への課題



株式会社 日本経済研究所

常務執行役員

地域本部 上席研究主幹 佐藤 淳

日本の「食と農」は、フランスやイタリアのように高級加工食品の展望が開けつつある。その先兵は清酒であるが、味噌、醤油にも期待がかかる。高級清酒（純米酒等）や黒酢のように伝統カテゴリーの品質基準を定めブランド化する方向性が鍵を握ろう

日本の地方圏はフランスやイタリアの様に、食文化を背景とした加工食品のブランド化に活路を見出すべきである。期待されるのは、清酒、味噌、醤油等である。これらの産業は中小企業が支えている部分が少なくない。原料を担う農水業も定義上は中小企業に該当するが、一緒に論ぜられることは少なかった。これからは、地域を支える主体として一体的に捉えて振興することが望まれよう（広義の6次産業）。

フランスとイタリア、日本の農食関連輸出を図表1に示す。フランスやイタリアの食と農に関する輸出品は、ワインやチーズ、オリーブオイルであり、農産品単体はむしろ少ない。我が国は、農業と食品製造業との距離が遠い。安価な輸入原料を国内市場向けに加工してきたためだ。また、高度成長以来、良いものを安く作る技術風土で成功を収めた国情を反映し、コモディティ品の輸出で世界と勝負しようとしがちである。

しかし、冷静に考えれば、人口減少問題を抱える先進国となった我が国が狙うべきマーケットは、マスマーケットというよりはむしろ、ニッチなブランドマーケットである。これはヨーロッパが先行している。特にフランスとイタリアである。両国ともに最大の輸出品目はワインである。ワイ

ンだけで、我が国の食と農の輸出総額を上回る。

我が国に引き直せば、清酒、味噌、醤油が有力候補である。まず、清酒は順調に歩みを進めている。巷では空前の清酒ブームとさえ囁かれ始めた。瀬祭で知られる旭酒造の新工場が本格稼働する今冬には、誰もがそれを実感するだろう。コシヒカリの数倍の単価である高級酒米、山田錦の生産量は、昨年度は一昨年度の1.5倍であった。今年度はそれを更新し過去最大となるかも知れない。輸出も順調であるが、フランスワインに比べれば、1/100に過ぎず、成長余地は大きい。

もっとも、課題も残る。品質基準については、輸出が増えるほど、議論が起こるだろう。例えばアルコール添加は、海外に説明し難い。しかし、単純にワインを見習ってAOC（原産地呼称制度）かというところではあるまい。ぶどうと異なりコメは腐敗し難く、酵母が潜んでいる訳でもない。清酒なりのテロワールを議論する必要がある。

味噌・醤油も輸出量は拡大している¹。清酒と遜色ない伸びである（図表2）。但し、清酒は輸出単価も上昇しているのに対し、醤油・味噌の単価は伸びていない（図表3）。清酒は近年高級化が著しいが、醤油・味噌はそうではない。

清酒以外で嗜好品に近いポジションをとり、ブ

1 味噌・醤油は現地生産も多い

ランド化に成功したのが、伝統黒酢である。この黒酢は長期熟成等により酢の色が茶褐色をしているものをさすが、JAS等による製法の定義は存在しない。そのために若干の混乱もあるが、代表は露天の壺で長い時間をかけて仕込む鹿児島県・福山地域のものであろう。

食酢は酸素を注入するなど発酵工程を効率化した大量生産の製法が主流である。福山の黒酢は、なんとか伝統的手法を守り、近年の活況に至っている。酢の機能性に着目した大学の科学的研究成果によると、福山の黒酢には、善玉を減らさずに総

コレステロールを減らす脂質代謝改善や、抗アレルギー、血圧調整などの作用があるとされている。

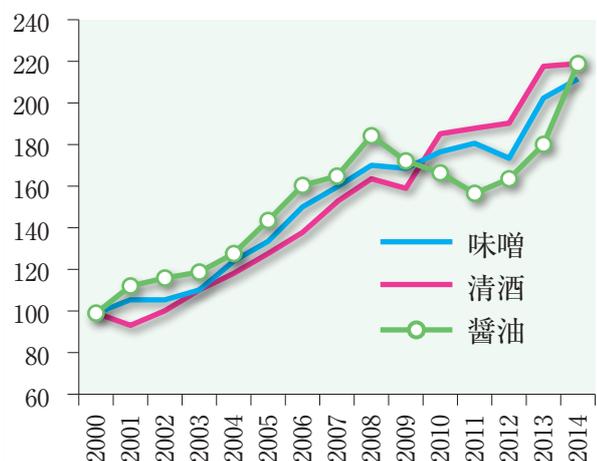
高級清酒（純米酒等）と福山黒酢は伝統製法によって、独自カテゴリーのブランド化に成功した。味噌・醤油にも伝統製法は残る。特に長期熟成が有効であることは、黒酢やワインに似た特徴であり、ブランド化の構成要素となりうる。できれば品質基準を定め当該領域の差別化とカテゴリーの明確化を端緒にブランド化を目指すことが望まれる。カテゴリーのブランド化が叶えば、世界展開の展望はさらに開けるだろう。

■図表1 食と農の輸出に関する日伊仏比較（2012年、数値：百万ドル）

日本		イタリア		フランス	
その他食材	747	ワイン	5,991	ワイン	10,053
生鮮食材	353	チーズ	2,519	小麦	5,041
たばこ	301	その他食材	2,417	蒸留酒	4,733
菓子	198	マカロニ	2,097	チーズ	3,327
ソフトドリンク	151	チョコレート	1,606	トウモロコシ	2,392
清酒	112	オリーブオイル	1,547	その他食材	2,243
蒸留酒	84	生鮮食材	1,494	牛	1,834
食品廃棄物	79	ペーストリー	1,380	砂糖菓子	1,701
小麦粉	74	コーヒー	1,260	ペーストリー	1,678
茶	64	加工トマト	1,000	チョコレート	1,516
その他	1,124		18,809		35,723
「食と農」輸出合計	3,287		40,120		70,240

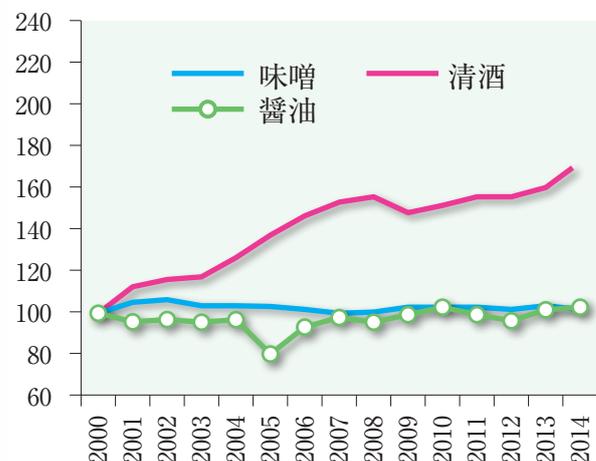
(出所) FAO より日本経済研究所作成

■図表2 食品輸出数量指数（2000年=100）



(出所) 貿易統計より日本経済研究所作成

■図表3 食品輸出価格指数（2000年=100）



(出所) 貿易統計より日本経済研究所作成